

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)								
事業名	優秀な科学技術関係人材の養成及び確保		担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度・平成22年度		担当課室	基盤政策課		基盤政策課長 板倉周一郎		
会計区分	一般会計		施策名	VII-1. 科学技術関係人材の育成及び科学技術に関する国民意識の醸成				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定) 新成長戦略(平成22年6月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	大学等が多様で優れた研究者の確保、社会のニーズに対応した人材の養成、次代を担う人材の育成に資する取組を行う機運を醸成し、その取組を促進、普及することにより、我が国の科学技術の発展に必要な人材の質を確保する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本事業は、 ①理工農系分野における、企業等の研究開発のチームリーダーとして即戦力となる人材の養成に特化し、チーム型の企業実習を核とした演習モデルを開発する。(実践型研究リーダー養成事業)、 ②入試等選抜方法の開発・実践、教育プログラムの開発・実践、意欲・能力を伸ばす工夫した取組など理数分野に関して強い学習意欲を持つ学生の意欲・能力等をさらに伸ばすことに重点を置いた取組(理数学生応援プロジェクト)を行う大学を公募し、委託により実施するものである。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	594	475	484	—	—	
		補正予算	△ 0	△ 3	0	—	—	
		繰越し等	0	0	△ 3	3	—	
		計	594	472	481	3	—	
	執行額	580	451	449	—	—		
執行率(%)	97.7%	95.6%	93.3%	—	—			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	理数学生応援プロジェクト採択大学の取組進捗状況(中間評価において評価を受けた全大学のうち、「優れた成果が期待できると取組であり、計画通り推進すべき」または「一定の成果が期待できる取組であり、中間評価の所見に留意し計画を推進すべき」との評価を受けた大学の割合)			%	100	100	90	—
			達成度	%	100	100	90	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	実践型研究リーダー養成事業の採択大学数			校	—	—	4	—
				校	—	—	4	—
	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
理数学生応援プロジェクトの採択大学数		校		10	20	22	—	
			校	10	20	22	—	
単位当たりコスト	(X)実践型研究リーダー養成事業 19百万円/校  (Y)理数学生応援プロジェクト 16百万円/校		算出根拠	(X)単位当たりコスト=75百万円*1/4校*2 (Y)単位当たりコスト=349百万円*1/22校*3 *1 事業全体の執行額 *2 実践型研究リーダー養成事業の採択大学数 *3 理数学生応援プロジェクトの採択大学数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
				平成22年度限りの経費				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成21年度の行政事業レビューの指摘事項を踏まえ、科学技術関係人材の育成に向けて効果的な連携が図られるよう、平成22年度限りでいったん廃止した上で、平成23年度は他の科学技術人材育成事業とともに「科学技術に関する人材の育成・活躍促進及び理解増進」へ整理統合した。その際、「理数学生応援プロジェクト」及び「実践型研究リーダー養成事業」については、新規採択は行わないこととし、予算を縮減した。</p> <p>また、平成22年度においても、事業の取組内容や成果を普及するため、関係大学が参加する連絡協議会を開催するなど事業の効果を高める取組を行っているが、今後は、成果発信をより一層強化し、優秀な科学技術関係人材を養成・確保するように努めていく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止の上、他事業と整理統合している。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

文部科学省  
449百万円

非常勤職員手当 18百万円  
諸謝金 3百万円  
職員旅費 2百万円  
(外国旅費含む)  
委員等旅費 1百万円  
庁費 1百万円

を含む。

大学等が社会のニーズに対応した人材の養成、次代を担う人材の育成に資する取組を行う機運を醸成等を行うことにより、我が国の科学技術の発展に必要な人材の質を確保する。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

[公募・委託]  
A. 科学技術関係人材の養成  
(実践型研究リーダー養成事業): 75百万円  
大学(全4大学)

理工農系分野における、企業等の研究開発のチームリーダーとして即戦力となる人材の養成に特化し、チーム型の企業実習を核とした演習モデルを開発する。

[公募・委託]  
B. 優秀な理系学生の養成  
(理数学生応援プロジェクト): 349百万円  
大学(全22機関)

理系学部を置く大学において、理数に強い学習意欲を持つ学生の意欲・能力をさらに伸ばすことに重点を置いた取組を実施。

A. 東京大学			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	担当職員給与、補助者給与	9			
旅費	国内旅費、外国旅費、外国人等招へい旅費	5			
印刷製本費	パンフレット、報告書	2			
雑役務費	HP作成、人材派遣等	2			
消耗品費	PPC用紙、トナーカートリッジ等	1			
その他	諸謝金、通信運搬費、消費税相当額	1			
一般管理費		2			
計		22	計		0
B. 大阪大学			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	担当職員給与、補助者給与	10			
旅費	国内旅費	2			
消耗品費	実験機器、試薬等	2			
印刷製本費	報告書、ポスター等	1			
その他	諸謝金、通信運搬費、雑役務費、電子計算機諸費、消費税相当額	2			
一般管理費		2			
計		19	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

### A. 科学技術関係人材の養成(実践型研究リーダー養成事業)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京大学	理工農系分野における、企業等の研究開発のチームリーダーとして即戦力となる人材の養成に特化し、チーム型の企業実習を核とした演習モデルを開発する。	22	企画競争	
2	東京農工大学	理工農系分野における、企業等の研究開発のチームリーダーとして即戦力となる人材の養成に特化し、チーム型の企業実習を核とした演習モデルを開発する。	22	企画競争	
3	大阪府立大学	理工農系分野における、企業等の研究開発のチームリーダーとして即戦力となる人材の養成に特化し、チーム型の企業実習を核とした演習モデルを開発する。	20	企画競争	
4	早稲田大学	理工農系分野における、企業等の研究開発のチームリーダーとして即戦力となる人材の養成に特化し、チーム型の企業実習を核とした演習モデルを開発する。	11	企画競争	

### B. 優秀な理系学生の養成(理数学生応援プロジェクト)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大阪大学	入試等選抜方法の開発・実践、教育プログラムの開発・実践、意欲・能力を伸ばす工夫した取組など理数分野に関して強い学習意欲を持つ学生の意欲・能力等をさらに伸ばすことに重点を置いた取組の開発及び実施	19	企画競争	
2	山梨大学	入試等選抜方法の開発・実践、教育プログラムの開発・実践、意欲・能力を伸ばす工夫した取組など理数分野に関して強い学習意欲を持つ学生の意欲・能力等をさらに伸ばすことに重点を置いた取組の開発及び実施	16	企画競争	
3	信州大学	入試等選抜方法の開発・実践、教育プログラムの開発・実践、意欲・能力を伸ばす工夫した取組など理数分野に関して強い学習意欲を持つ学生の意欲・能力等をさらに伸ばすことに重点を置いた取組の開発及び実施	16	企画競争	
4	東北大学	入試等選抜方法の開発・実践、教育プログラムの開発・実践、意欲・能力を伸ばす工夫した取組など理数分野に関して強い学習意欲を持つ学生の意欲・能力等をさらに伸ばすことに重点を置いた取組の開発及び実施	16	企画競争	
5	北海道大学	入試等選抜方法の開発・実践、教育プログラムの開発・実践、意欲・能力を伸ばす工夫した取組など理数分野に関して強い学習意欲を持つ学生の意欲・能力等をさらに伸ばすことに重点を置いた取組の開発及び実施	16	企画競争	
6	静岡大学	入試等選抜方法の開発・実践、教育プログラムの開発・実践、意欲・能力を伸ばす工夫した取組など理数分野に関して強い学習意欲を持つ学生の意欲・能力等をさらに伸ばすことに重点を置いた取組の開発及び実施	16	企画競争	
7	鹿児島大学	入試等選抜方法の開発・実践、教育プログラムの開発・実践、意欲・能力を伸ばす工夫した取組など理数分野に関して強い学習意欲を持つ学生の意欲・能力等をさらに伸ばすことに重点を置いた取組の開発及び実施	16	企画競争	
8	東京工業大学	入試等選抜方法の開発・実践、教育プログラムの開発・実践、意欲・能力を伸ばす工夫した取組など理数分野に関して強い学習意欲を持つ学生の意欲・能力等をさらに伸ばすことに重点を置いた取組の開発及び実施	16	企画競争	
9	お茶の水女子大学	入試等選抜方法の開発・実践、教育プログラムの開発・実践、意欲・能力を伸ばす工夫した取組など理数分野に関して強い学習意欲を持つ学生の意欲・能力等をさらに伸ばすことに重点を置いた取組の開発及び実施	16	企画競争	
10	豊橋技術科学大学	入試等選抜方法の開発・実践、教育プログラムの開発・実践、意欲・能力を伸ばす工夫した取組など理数分野に関して強い学習意欲を持つ学生の意欲・能力等をさらに伸ばすことに重点を置いた取組の開発及び実施	16	企画競争	